

科目名		電気設備実習Ⅱ			
担当教員		富樫 久夫		実務授業の有無	有
対象学科		建築設備システム科	対象学年	2年	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築設備の一部である屋内配線作業ができるようになるため、第二種電気工事士技能試験の13課題をはじめ、タイムスイッチやポンプ回路などの実際の配線工事技術を習得する			
学習目標 (到達目標)		第二種電気工事士技能試験に余裕で合格できるレベルに加え、制御回路をひとりで組むことができるレベルを目指す			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		第二種電気工事士技能試験丸わかり（電気書院）および、オリジナル資料（PDF）			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	候補問題の分析と作成 1			テキストとPDF資料にて 13の課題すべてについて、施工条件を読み合わせ複線図を作図後に作成する	
2	タイムスイッチ回路			PDF資料にて タイムスイッチを活用した深夜電力利用回路やイルミネーションの回路を作成する	
3	フロートレススイッチ回路			PDF資料にて フロートレススイッチを活用した給水ポンプ・排水ポンプの回路を作成する	
4	リレーシーケンス			PDF資料にて 自己保持回路・インタロック回路を作成する	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			安全第一	
20 %	80 %	%	%	身だしなみと整理整頓を心掛ける	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		電気・電子技術者として設計の現場に5年係わっていた 第一種電気工事士			